

歴代会長

初代 伊藤 喜市 (S28 ~ S42)
 二代 伊藤 岩男 (S42 ~ H18)
 三代 山下 茂 (H18 ~ H24)

四代 小澤 秀行 (H24 ~ H25)
 五代 大西 治 (H25 ~ H27)
 六代 中津川 伸夫 (H27 ~ 現在)

町会の特徴

当東町会は、環状七号線が出来る前は全て大和町でしたが、その開通に伴い、環七の東側は野方1丁目に、西側は大和町1丁目に町名、番地等が変わりました。その結果、野方1丁目の一部と、大和町1丁目の一部が、大和町東町会となりました。

現在の住民は約1600世帯 その内 町会員は約1000世帯で、大和地区5町会の中では4番目の規模の町会です。住民の世帯数は減少はしていないのですが、戸建て住宅が、アパート、マンション等の集合住宅に変わりつつあり、新しく転入された方、若い方は そういった集合住宅に多く住まわれています。

それらの住宅事情の変化の結果、隣近所のつながりが希薄になる傾向があり、新しい方、若い方を取り込んでの町会活動が必要になってきています。

また、環状七号線が真ん中を走る当町会は、首都直下地震の際には危険とされた地区も含まれ、震災への事前の備えが特に必要な地域であるとも言えます。町会の活動を更に充実させて、それらの災害に備えてゆきたいと思えます。

町会の活動

町会単独での最大の活動は、早稲田通り公園で年1回「芋煮会」として開催される防災訓練です。数年前にバーナーや大鍋を購入し、毎年100人分を越えるトン汁や焼そばを役員総出で準備しています。この活動は防災の準備でもあるのですが、食材の準備や調理の共同作業は、町会員のつながりを強める良い催し物となっております。

夏休みの時期には、中町会、一和町会と合同ですいか割、ヨーヨーつり大会を開催し、町内の保育園の園児も招待し、多くの子供達に喜ばれており、子供の良い思い出で作りになっています。防犯活動として、月2回毎回10人近くの役員が町内のパトロールを行っています。2015年より毎月「瓦版Yamato東町会」を発行し、町会の活動予定や、報告を掲載し、また一口知識のコーナーで「寺子屋広報」として二十四節気等の解説情報を載せて喜ばれています。

親睦と言う意味では、厚生部が年1回日帰りのバス旅行を計画し、参加者に喜ばれています。婦人部も、芋煮会、盆踊り、5町会合同行事等で大活躍しています。

今後とも町会員のつながりを強め、防災に備えていきたいと思っています。



2016年J.COMで紹介された芋煮会